

CM方式導入による公園・道路（街路樹等）の維持管理

■インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討  
□官民連携グリーンチャレンジモデル

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

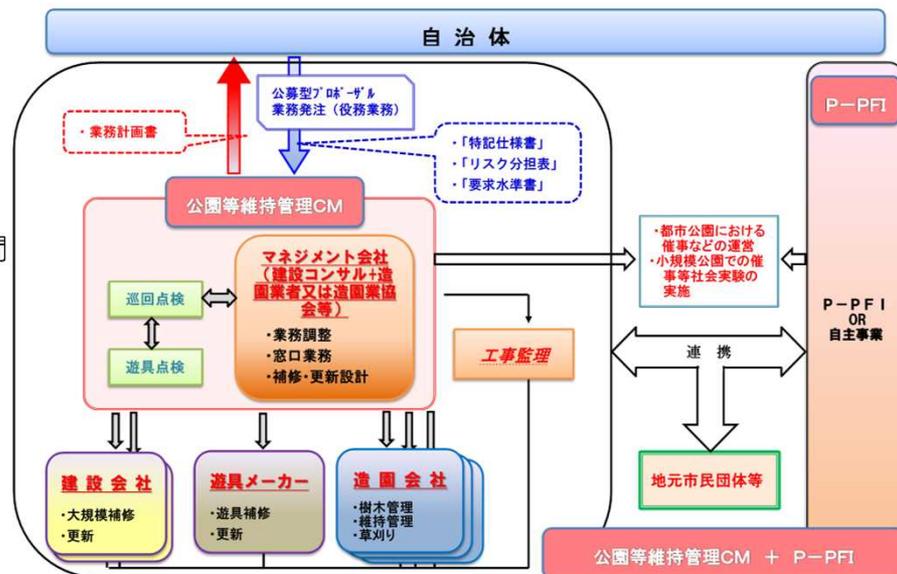
- ・地方自治体に**技術者職員が不足**してきています。
- ・公園、道路（街路樹）の維持管理に係る**費用が増大**し、年間予算を脅かす状況です。
- ・公園の遊具等の点検が十分でなく、**安全・安心**の施設利用に懸念が生じています。
- ・地方自治体の維持管理工事に係る**発注手続き、工事監理等**に時間を割かれています。
- ・利用の少ない**小規模公園の活性化**と効率的維持管理が求められます。

事業規模（案）

総合公園1，近隣・街区公園10、遊園・緑地30か所程度と周辺道路

②提案の概要

- ・公園等事業の一部を右図に従い、運営・管理を効率的に実施する。
- ・維持管理の工事発注にあたっては、**アットリスク型CM方式**を採用し、受注者（民間事業者）が個々の発注手続きを行い、専門業者（維持管理作業会社）の決定にあたっては、発注者（地方自治体原課）の承認を得る方式の採用を行う。
- ・地方自治体で管理している公園、道路（街路樹）の維持管理作業を民間に委託することで、行政事務のアウトソーシング化による**行政職員の負担軽減**に繋げる。
- ・維持管理工事の監理業務も受注者が行い、品質確保が可能となる。
- ・日常業務において施設点検を確実にし、**予防保全**に徹することにより安全・安心及び維持管理費の抑制、縮減に繋げる。
- ・「街づくり」に係る**民間事業者の経験・ノウハウ**を活用し、利用の少ない小規模公園の活性化と管理の効率化及び費用の縮減を図る。
- ・公園樹木剪定に併せ街路樹剪定を組み込み、**剪定工事規模の拡大**による工事経費縮減を図る。



③スキーム（技術）の導入により得られる効果

- ・発注手続き、工事監理をアウトソーシング化でき、**技術者不足が解消**できる。
- ・「コスト+フィ方式」「オープンブック方式」によることから、工事費等を公表し、**公平性、透明性**を確保できる。更に、品質確保が可能となる。
- ・園内の日常巡回・点検を確実にし、園内、遊具の点検・修理等予防保全により、**事故・クレームを未然防止し、LCC低減・市民サービスの向上**が図れる。
- ・「街づくり」の観点より、利用者の少ない**小規模公園の活性化**が図れる。

その他

- ・指定管理者制度と異なり、**地元業者を請負業者として実施し、業者育成と税収増**を図る。
- ・P-PFI等の併用により、**基幹公園の事業収入、人件費で小規模公園の維持費軽減**に繋げることができる。
- ・地元市民団体等との連携を図り、**利用市民の増加及び満足度の向上**を図る。